

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2023年7月14日～2050年6月21日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	グローバル・ライフ株式マザーファンドの受益証券
	グローバル・ライフ株式マザーファンド	イ、日本を含む世界の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。またＤＲ（預託証券）を含みます。） ロ、日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	資産成長型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
	予想分配金提示型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、下記イ、ロ、およびハ、に基づき分配します。 イ、計算期末の前営業日の基準価額（１万口当り。既払分配金を加算しません。以下同じ。）が10,000円未満の場合、原則として、分配は行ないません。 ロ、計算期末の前営業日の基準価額が10,000円以上11,000円未満の場合、原則として、分配対象額の範囲内で、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。 ハ、計算期末の前営業日の基準価額が11,000円以上の場合、原則として、分配対象額の範囲内で、当該基準価額に並び、下記の金額（１万口当り）を分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 (a)11,000円以上12,000円未満の場合・・・200円 (b)12,000円以上13,000円未満の場合・・・300円 (c)13,000円以上14,000円未満の場合・・・400円 (d)14,000円以上の場合・・・500円 なお、当該計算期末に向けて基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行わないことがあります。

◇SUZ0348820250623◇

グローバル・ライフ株式ファンド
(資産成長型) (予想分配金提示型)
(愛称：ブライトライフ)

運用報告書（全体版）

資産成長型 第4期（決算日 2025年6月23日）

予想分配金提示型（第7期（決算日 2025年3月21日）
第8期（決算日 2025年6月23日）

（作成対象期間 2024年12月24日～2025年6月23日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の株式等の中から、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の2つのテーマに関連する企業の株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9：00～17：00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3488>
<3489>

資産成長型

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 率 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末(2023年12月21日)	10,273	0	2.7	10,750	7.5	97.0	－	7,044
2 期末(2024年 6 月21日)	12,824	0	24.8	13,523	25.8	97.8	－	6,889
3 期末(2024年12月23日)	12,646	0	△ 1.4	14,070	4.0	97.6	－	6,358
4 期末(2025年 6 月23日)	11,839	0	△ 6.4	13,919	△ 1.1	98.3	－	5,672

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI AC World Index (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World Index (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI に帰属します。またMSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCI によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCI は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。
(<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>)

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

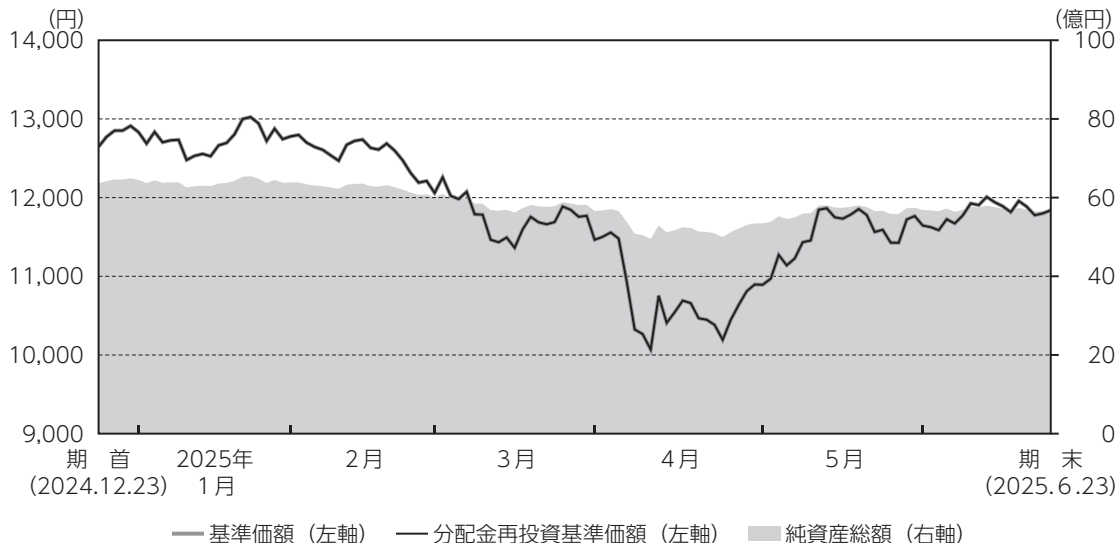
(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期 首：12,646円

期 末：11,839円（分配金0円）

騰落率：△6.4%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、主に中国製AI（人工知能）の報道をきっかけに事業成長への懸念が高まった半導体およびソフトウェア関連銘柄の下落や、米ドルに対する円高の進行がマイナス要因となり、下落しました。

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算)		株 組 入 比 率	株 式 先 物 率 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2024年12月23日	円 12,646	% －	14,070	% －	% 97.6	% －
12月末	12,831	1.5	14,329	1.8	97.3	－
2025年 1 月末	12,778	1.0	14,345	1.9	97.8	－
2 月末	12,059	△ 4.6	13,670	△2.8	98.2	－
3 月末	11,464	△ 9.3	13,247	△5.9	98.5	－
4 月末	10,892	△13.9	12,673	△9.9	98.6	－
5 月末	11,645	△ 7.9	13,572	△3.5	98.6	－
(期末) 2025年 6 月23日	11,839	△ 6.4	13,919	△1.1	98.3	－

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024.12.24～2025.6.23)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より2025年2月半ばにかけて、コストが安いとされる中国製のAI（人工知能）の報道が重しとなった一方で、インフレ鈍化を示す米国のCPI（消費者物価指数）を受けた金利低下などを背景に、堅調に推移しました。しかし2月後半に入ると、個人消費の減速を示唆する経済データが散見され、景気の先行き懸念から下落しました。4月上旬には、米国政府による世界各国への関税強化方針が示されたことで急落したものの、その後は、相互関税の一時停止や対中強硬姿勢の緩和などが好感されたことから、急反発しました。5月以降は、関税交渉の進展や米国半導体大手エヌビディアの決算が好感されたことにより、上昇基調で推移しました。

■為替相場

対円為替相場は、米ドルは下落（円高）した一方で、ユーロは上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日銀の利上げ見通しが高まったことや、米国の関税政策を発端として市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことなどから、2025年4月にかけて円高基調となりました。5月前半には、貿易交渉の進展を背景にリスク選好が強まったことなどから円安が進行しましたが、その後は、国内金利の上昇を受けた金利差縮小の思惑などから、円高圧力が強まる展開となりました。

ユーロ対円為替相場は、当作成期首から2025年2月にかけて、おおむね米ドルと同様の動きとなりました。3月以降は、ドイツ政府による大規模な財政拡大策を受けてユーロが買われる展開となり、6月にかけては、ユーロ圏金利の上昇や財政拡張への期待を背景に、ユーロは対円で上昇幅を拡大させました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「グローバル・ライフ株式マザーファンド」の受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■グローバル・ライフ株式マザーファンド

当ファンドでは、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の2つのテーマに関連する企業の株式等に投資を行います。「いのちを守る」というテーマにおいては、医療、食料、環境など、生きていくうえで必要不可欠な分野におけるさまざまな課題を解決する企業に着目します。「いのちを輝かせる」というテーマにおいては、技術革新を通じて、より便利で豊かな生活を実現させる企業に着目します。

運用にあたっては、“いのち”にまつわる2つのテーマに関連する企業の中から、ESGスクリーニングやファンダメンタルズ分析等を実施することにより銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。幅広い視点から投資を行うことで、さまざまな企業の成長機会を捉え、長期的に良好なパフォーマンスを生み出すことをめざします。

ポートフォリオについて

(2024.12.24～2025.6.23)

■当ファンド

当作成期を通じて「グローバル・ライフ株式マザーファンド」の受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行いました。

■グローバル・ライフ株式マザーファンド

当ファンドは、運用にあたって、カンドリアム・エス・シー・エー（以下、「カンドリアム」ということがあります。）から助言を受けています。

運用につきましては、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」という2つのテーマに着目し、それぞれのテーマに関連した優れた成長機会を有する企業に投資を行うことで、信託財産の成長をめざしました。当作成期においては、特に「いのちを守る」に関連するサブテーマ「医療」や、「いのちを輝かせる」に関連するサブテーマ「利便性の向上」を中心に投資を行いました。セクター別では、情報技術セクター、資本財・サービスセクター、ヘルスケアセクター、地域別では、米国や欧州を中心に投資しました。個別銘柄では、MICROSOFT CORP（米国）、NVIDIA CORP（米国）、APPLE INC（米国）など、A I（人工知能）普及の恩恵を受ける企業を中心に組み入れました。

当ファンドは、「E S Gファンド＊」です。

- ＊E S Gファンドとは、E S Gを投資対象選定の主要な要素としており、その内容に関する開示が可能なファンドです。
- ＊当ファンドは、経済的リターンと並行して社会や環境にポジティブなインパクトをもたらす、いわゆる「社会的リターン」の獲得をめざすものではありません。

○E S Gの観点により選定した銘柄への投資比率について

- ポートフォリオの75%以上がサステナブル投資銘柄（※1）となるようにポートフォリオを構築します。
- （※1）サステナブル投資銘柄とは、カンドリアムが独自で付与したE S Gレーティング10段階のうち上位5段階以上の銘柄のことを指します。
- ◆ポートフォリオ組入銘柄のE S Gレーティングの内訳

	2024年 12月末時点	2025年 1月末時点	同 2月末時点	同 3月末時点	同 4月末時点	同 5月末時点
サステナブル投資銘柄	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
上記以外	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(注) 比率はポートフォリオに対する比率です。
(出所：カンドリアム)

- 世界株式（MSCI ACWI）対比でE S Gスコア（※ 2）が上回った状態を維持することを目標とします。

（※ 2） E S Gスコアとは、カンドリアム独自の企業E S G分析に基づき、分析結果を0から100で得点化したものです。

◆ E S Gスコアの比較

	2024年 12月末時点	2025年 1月末時点	同 2月末時点	同 3月末時点	同 4月末時点	同 5月末時点
当ファンド	55	55	55	55	55	55
世界株式（MSCI ACWI）	50	50	50	50	50	50

（出所：カンドリアム）

- 世界株式（MSCI ACWI）対比で売上高当りの二酸化炭素排出量（カーボンインテンシティ）が30%以上下回った状態を維持することを目標とします。

◆カーボンインテンシティの比較

	2024年 12月末時点	2025年 1月末時点	同 2月末時点	同 3月末時点	同 4月末時点	同 5月末時点
当ファンド	82	86	86	92	95	84
世界株式（MSCI ACWI）	147	147	144	154	160	162
世界株式（MSCI ACWI）に対する当ファンドの比率	△44.7%	△41.5%	△40.1%	△39.9%	△40.3%	△48.4%

（注）単位はtCO₂e／百万EUR（売上高）です。

（出所：カンドリアム）

○カンドリアム・エス・シー・エーがスチュワードシップ方針に沿って実施した行動について

カンドリアムは、ファンドおよびポートフォリオマネジメントの活動において、可能な限りエンゲージメントを投資戦略に組み込んでおり、戦略、財務・非財務パフォーマンス、リスク、資本構成、社会・環境への影響およびコーポレート・ガバナンスなどの関連事項について、投資先企業をモニタリングしています。また、働きかけが有用と判断した場合、専任のスチュワードシップチームが投資先企業との対話を行い、議決権およびその他の株式に付随する権利を行使します。

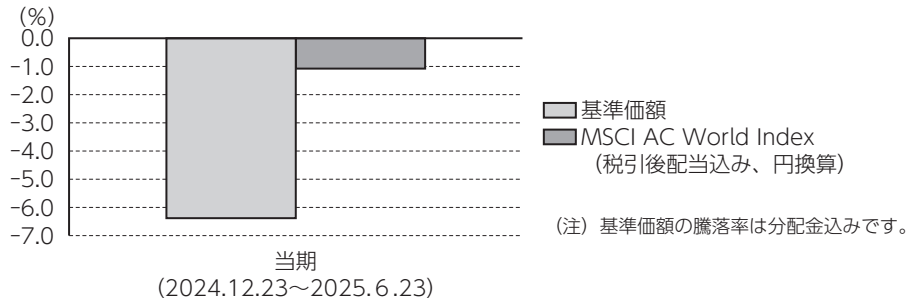
当作成期においても、顧客にとって最善の利益のために行動し、企業の優れたコーポレート・ガバナンスの実践を促し、企業内の変化を促進するために建設的な対話および議決権行使を実施しました。

カンドリアムのスチュワードシップ方針やスチュワードシップ活動の詳細については、カンドリアムのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.candriam.com/en/professional/insight-overview/publications/>

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年12月24日 ～2025年6月23日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	2,641

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「グローバル・ライフ株式マザーファンド」の受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■グローバル・ライフ株式マザーファンド

当ファンドでは、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の2つのテーマに関連する企業の株式等に投資を行います。「いのちを守る」というテーマにおいては、医療、食料、環境など、生きていくうえで必要不可欠な分野におけるさまざまな課題を解決する企業に着目します。「いのちを輝かせる」というテーマにおいては、技術革新を通じて、より便利で豊かな生活を実現させる企業に着目します。

運用にあたっては、“いのち”にまつわる2つのテーマに関連する企業の中から、ESGスクリーニングやファンダメンタルズ分析等を実施することにより銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。幅広い視点から投資を行うことで、さまざまな企業の成長機会を捉え、長期的に良好なパフォーマンスを生み出すことをめざします。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2024.12.24~2025.6.23)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	106円	0.897%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,860円です。
(投 信 会 社)	(59)	(0.499)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(46)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0.019	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.019)	
有価証券取引税	2	0.014	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(2)	(0.014)	
そ の 他 費 用	1	0.006	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	111	0.935	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

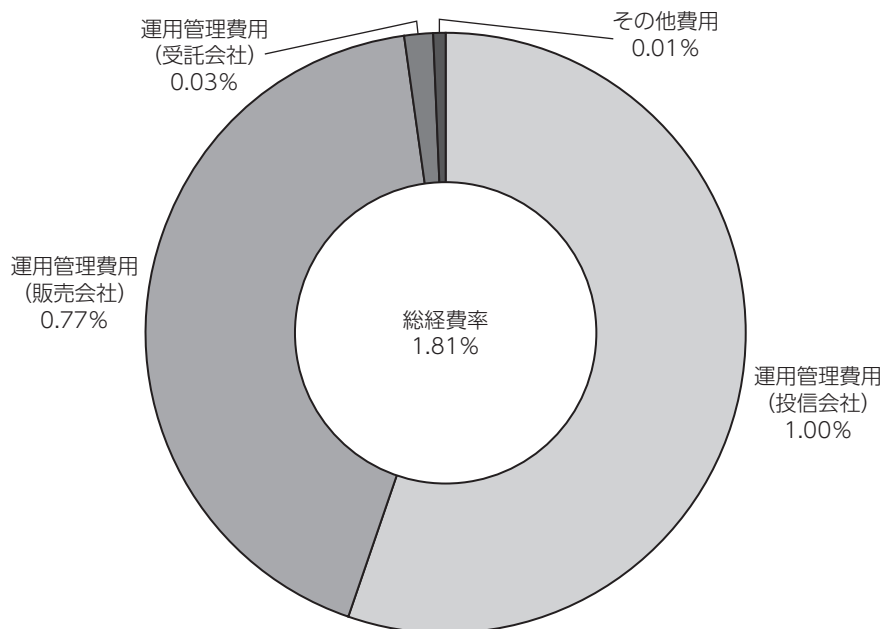
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.81%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年12月24日から2025年6月23日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
グローバル・ライフ株式マザーファンド	44,809	55,100	318,436	390,100

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合
(2024年12月24日から2025年6月23日まで)

項 目	当 期
	グローバル・ライフ株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,340,979千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,769,625千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	0.30

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
グローバル・ライフ株式マザーファンド	4,888,817	4,615,189	5,666,991

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年6月23日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ライフ株式マザーファンド	5,666,991	98.9
コール・ローン等、その他	65,539	1.1
投資信託財産総額	5,732,531	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月23日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝146.50円、1イギリス・ポンド＝196.52円、1スイス・フラン＝178.88円、1デンマーク・クローネ＝22.55円、1ユーロ＝168.20円です。

(注3) グローバル・ライフ株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (7,579,290千円) の投資信託財産総額 (7,628,534千円) に対する比率は、99.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年6月23日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,732,531,687円
コール・ローン等	53,739,998
グローバル・ライフ株式マザーファンド(評価額)	5,666,991,689
未収入金	11,800,000
(B) 負債	59,760,139
未払解約金	6,884,575
未払信託報酬	52,714,454
その他未払費用	161,110
(C) 純資産総額(A－B)	5,672,771,548
元本	4,791,550,495
次期繰越損益金	881,221,053
(D) 受益権総口数	4,791,550,495口
1万口当り基準価額(C／D)	11,839円

* 期首における元本額は5,027,754,080円、当作成期間中における追加設定元本額は154,098,601円、同解約元本額は390,302,186円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,839円です。

■損益の状況

当期 自2024年12月24日 至2025年6月23日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	65,194円
受取利息	65,194
(B) 有価証券売買損益	△ 325,052,976
売買益	27,689,573
売買損	△ 352,742,549
(C) 信託報酬等	△ 52,875,564
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 377,863,346
(E) 前期繰越損益金	1,079,816,240
(F) 追加信託差損益金	179,268,159
(配当等相当額)	(112,605,838)
(売買損益相当額)	(66,662,321)
(G) 合計(D + E + F)	881,221,053
次期繰越損益金(G)	881,221,053
追加信託差損益金	179,268,159
(配当等相当額)	(112,605,838)
(売買損益相当額)	(66,662,321)
分配準備積立金	1,152,878,567
繰越損益金	△ 450,925,673

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：14,647,035円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	112,605,838
(d) 分配準備積立金	1,152,878,567
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,265,484,405
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,265,484,405
(h) 受益権総口数	4,791,550,495口

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

予想分配金提示型

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 率 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末(2023年 9 月21日)	10,069	50	1.2	10,461	4.6	97.2	－	1,620
2 期末(2023年12月21日)	10,183	50	1.6	10,750	2.8	96.4	－	1,777
3 期末(2024年 3 月21日)	11,395	200	13.9	12,330	14.7	93.9	－	1,919
4 期末(2024年 6 月21日)	12,179	300	9.5	13,523	9.7	96.9	－	2,122
5 期末(2024年 9 月24日)	11,008	200	△ 8.0	12,806	△ 5.3	95.9	－	1,839
6 期末(2024年12月23日)	11,601	200	7.2	14,070	9.9	96.7	－	2,040
7 期末(2025年 3 月21日)	10,594	100	△ 7.8	13,410	△ 4.7	98.0	－	1,964
8 期末(2025年 6 月23日)	10,655	100	1.5	13,919	3.8	97.4	－	1,965

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) MSCI AC World Index（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI AC World Index（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World Index（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。

(<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>)

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

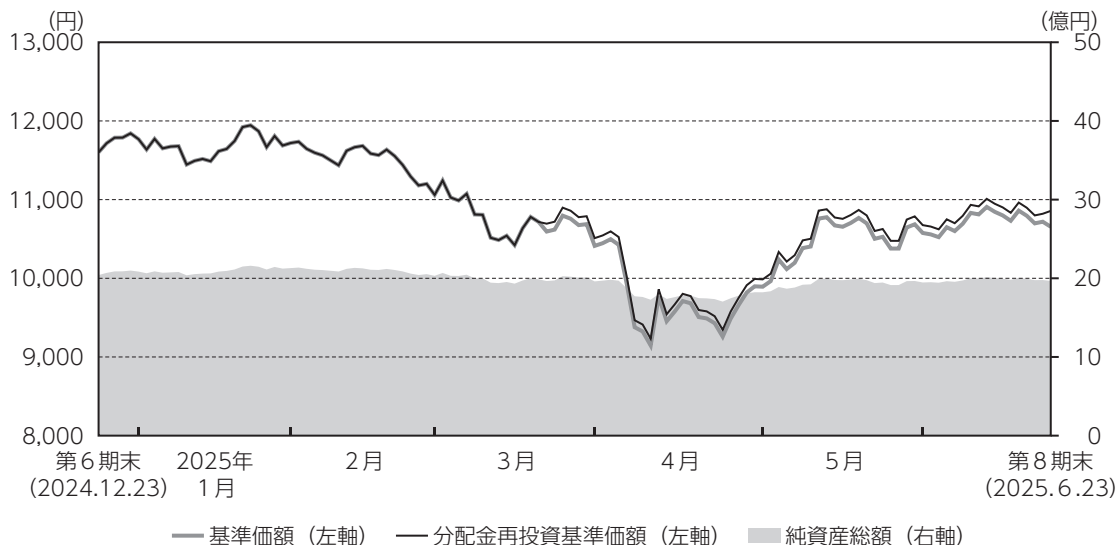
(注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第7期首：11,601円

第8期末：10,655円（既払分配金200円）

騰落率：△6.4%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、主に中国製AI（人工知能）の報道をきっかけに事業成長への懸念が高まった半導体およびソフトウェア関連銘柄の下落や、米ドルに対する円高の進行がマイナス要因となり、下落しました。

	年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算)		株 組 入 比 率	株 式 先 物 率 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第 7 期	(期首) 2024年12月23日	円 11,601	% -	14,070	% -	% 96.7	% -
	12月末	11,768	1.4	14,329	1.8	97.2	-
	2025年 1 月末	11,719	1.0	14,345	1.9	97.8	-
	2 月末	11,060	△4.7	13,670	△2.8	98.2	-
	(期末) 2025年 3 月21日	10,694	△7.8	13,410	△4.7	98.0	-
第 8 期	(期首) 2025年 3 月21日	10,594	-	13,410	-	98.0	-
	3 月末	10,412	△1.7	13,247	△1.2	98.3	-
	4 月末	9,893	△6.6	12,673	△5.5	98.5	-
	5 月末	10,576	△0.2	13,572	1.2	98.6	-
	(期末) 2025年 6 月23日	10,755	1.5	13,919	3.8	97.4	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024.12.24～2025.6.23)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より2025年2月半ばにかけて、コストが安いとされる中国製のAI（人工知能）の報道が重しとなった一方で、インフレ鈍化を示す米国のCPI（消費者物価指数）を受けた金利低下などを背景に、堅調に推移しました。しかし2月後半に入ると、個人消費の減速を示唆する経済データが散見され、景気の先行き懸念から下落しました。4月上旬には、米国政府による世界各国への関税強化方針が示されたことで急落したものの、その後は、相互関税の一時停止や対中強硬姿勢の緩和などが好感されたことから、急反発しました。5月以降は、関税交渉の進展や米国半導体大手エヌビディアの決算が好感されたことにより、上昇基調で推移しました。

■為替相場

対円為替相場は、米ドルは下落（円高）した一方で、ユーロは上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日銀の利上げ見通しが高まったことや、米国の関税政策を発端として市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことなどから、2025年4月にかけて円高基調となりました。5月前半には、貿易交渉の進展を背景にリスク選好が強まったことなどから円安が進行しましたが、その後は、国内金利の上昇を受けた金利差縮小の思惑などから、円高圧力が強まる展開となりました。

ユーロ対円為替相場は、当作成期首から2025年2月にかけて、おおむね米ドルと同様の動きとなりました。3月以降は、ドイツ政府による大規模な財政拡大策を受けてユーロが買われる展開となり、6月にかけては、ユーロ圏金利の上昇や財政拡張への期待を背景に、ユーロは対円で上昇幅を拡大させました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「グローバル・ライフ株式マザーファンド」の受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■グローバル・ライフ株式マザーファンド

当ファンドでは、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の2つのテーマに関連する企業の株式等に投資を行います。「いのちを守る」というテーマにおいては、医療、食料、環境など、生きていくうえで必要不可欠な分野におけるさまざまな課題を解決する企業に着目します。「いのちを輝かせる」というテーマにおいては、技術革新を通じて、より便利で豊かな生活を実現させる企業に着目します。

運用にあたっては、“いのち”にまつわる2つのテーマに関連する企業の中から、ESGスクリーニングやファンダメンタルズ分析等を実施することにより銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。幅広い視点から投資を行うことで、さまざまな企業の成長機会を捉え、長期的に良好なパフォーマンスを生み出すことをめざします。

ポートフォリオについて

(2024.12.24～2025.6.23)

■当ファンド

当作成期を通じて「グローバル・ライフ株式マザーファンド」の受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行いました。

■グローバル・ライフ株式マザーファンド

当ファンドは、運用にあたって、カンドリアム・エス・シー・エー（以下、「カンドリアム」ということがあります。）から助言を受けています。

運用につきましては、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」という2つのテーマに着目し、それぞれのテーマに関連した優れた成長機会を有する企業に投資を行うことで、信託財産の成長をめざしました。当作成期においては、特に「いのちを守る」に関連するサブテーマ「医療」や、「いのちを輝かせる」に関連するサブテーマ「利便性の向上」を中心に投資を行いました。セクター別では、情報技術セクター、資本財・サービスセクター、ヘルスケアセクター、地域別では、米国や欧州を中心に投資しました。個別銘柄では、MICROSOFT CORP（米国）、NVIDIA CORP（米国）、APPLE INC（米国）など、AI（人工知能）普及の恩恵を受ける企業を中心に組み入れました。

当ファンドは、「ESGファンド*」です。

* ESGファンドとは、ESGを投資対象選定の主要な要素としており、その内容に関する開示が可能なファンドです。

* 当ファンドは、経済的リターンと並行して社会や環境にポジティブなインパクトをもたらす、いわゆる「社会的リターン」の獲得をめざすものではありません。

○ ESGの観点により選定した銘柄への投資比率について

● ポートフォリオの75%以上がサステナブル投資銘柄（※1）となるようにポートフォリオを構築します。

（※1）サステナブル投資銘柄とは、カンドリアムが独自で付与したESGレーティング10段階のうち上位5段階以上の銘柄のことを指します。

◆ ポートフォリオ組入銘柄のESGレーティングの内訳

	2024年 12月末時点	2025年 1月末時点	同 2月末時点	同 3月末時点	同 4月末時点	同 5月末時点
サステナブル投資銘柄	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
上記以外	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（注）比率はポートフォリオに対する比率です。

（出所：カンドリアム）

●世界株式（MSCI ACWI）対比でE S Gスコア（※ 2）が上回った状態を維持することを目標とします。

（※ 2） E S Gスコアとは、カンドリアム独自の企業E S G分析に基づき、分析結果を0から100で得点化したものです。

◆ E S Gスコアの比較

	2024年 12月末時点	2025年 1月末時点	同 2月末時点	同 3月末時点	同 4月末時点	同 5月末時点
当ファンド	55	55	55	55	55	55
世界株式（MSCI ACWI）	50	50	50	50	50	50

（出所：カンドリアム）

●世界株式（MSCI ACWI）対比で売上高当りの二酸化炭素排出量（カーボンインテンシティ）が30%以上下回った状態を維持することを目標とします。

◆カーボンインテンシティの比較

	2024年 12月末時点	2025年 1月末時点	同 2月末時点	同 3月末時点	同 4月末時点	同 5月末時点
当ファンド	82	86	86	92	95	84
世界株式（MSCI ACWI）	147	147	144	154	160	162
世界株式（MSCI ACWI）に対する 当ファンドの比率	△44.7%	△41.5%	△40.1%	△39.9%	△40.3%	△48.4%

（注）単位はtCO₂e／百万EUR（売上高）です。

（出所：カンドリアム）

○カンドリアム・エス・シー・エーがスチュワードシップ方針に沿って実施した行動について

カンドリアムは、ファンドおよびポートフォリオマネジメントの活動において、可能な限りエンゲージメントを投資戦略に組み込んでおり、戦略、財務・非財務パフォーマンス、リスク、資本構成、社会・環境への影響およびコーポレート・ガバナンスなどの関連事項について、投資先企業をモニタリングしています。また、働きかけが有用と判断した場合、専任のスチュワードシップチームが投資先企業との対話を行い、議決権およびその他の株式に付随する権利を行使します。

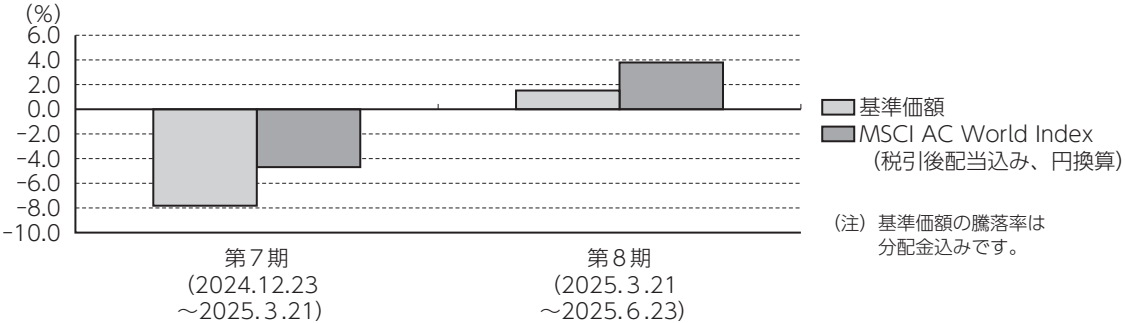
当作成期においても、顧客にとって最善の利益のために行動し、企業の優れたコーポレート・ガバナンスの実践を促し、企業内の変化を促進するために建設的な対話および議決権行使を実施しました。

カンドリアムのスチュワードシップ方針やスチュワードシップ活動の詳細については、カンドリアムのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.candriam.com/en/professional/insight-overview/publications/>

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第7期 2024年12月24日 ～2025年3月21日	第8期 2025年3月22日 ～2025年6月23日
当期分配金（税込み）（円）	100	100
対基準価額比率（％）	0.94	0.93
当期の収益（円）	－	33
当期の収益以外（円）	100	66
翌期繰越分配対象額（円）	1,554	1,519

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第7期	第8期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円	✓ 33.64円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	439.68	516.22
(d) 分配準備積立金	✓ 1,214.62	✓ 1,069.30
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,654.30	1,619.18
(f) 分配金	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,554.30	1,519.18

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「グローバル・ライフ株式マザーファンド」の受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■グローバル・ライフ株式マザーファンド

当ファンドでは、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の2つのテーマに関連する企業の株式等に投資を行います。「いのちを守る」というテーマにおいては、医療、食料、環境など、生きていくうえで必要不可欠な分野におけるさまざまな課題を解決する企業に着目します。「いのちを輝かせる」というテーマにおいては、技術革新を通じて、より便利で豊かな生活を実現させる企業に着目します。

運用にあたっては、“いのち”にまつわる2つのテーマに関連する企業の中から、ESGスクリーニングやファンダメンタルズ分析等を実施することにより銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。幅広い視点から投資を行うことで、さまざまな企業の成長機会を捉え、長期的に良好なパフォーマンスを生み出すことをめざします。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第7期～第8期 (2024.12.24～2025.6.23)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	97円	0.895%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,855円です。
(投 信 会 社)	(54)	(0.498)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(42)	(0.383)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0.019	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.019)	
有価証券取引税	2	0.014	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(2)	(0.014)	
そ の 他 費 用	1	0.006	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	101	0.933	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

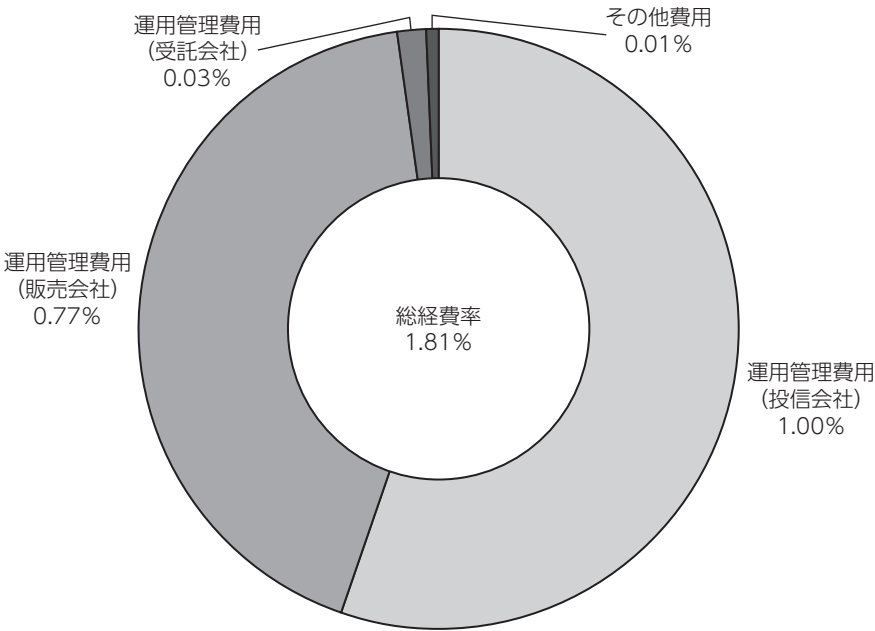
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.81%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年12月24日から2025年6月23日まで)

決 算 期	第 7 期 ～ 第 8 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
グローバル・ライフ株式マザーファンド	177,552	222,800	148,734	173,700

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年12月24日から2025年6月23日まで)

項 目	第 7 期 ～ 第 8 期
	グローバル・ライフ株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,340,979千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,769,625千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	0.30

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第 6 期末	第 8 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル・ライフ株式マザーファンド	1,555,337	1,584,155	1,945,184

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年6月23日現在

項 目	第 8 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ライフ株式マザーファンド	1,945,184	97.5
コール・ローン等、その他	50,898	2.5
投資信託財産総額	1,996,083	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月23日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝146.50円、1イギリス・ポンド＝196.52円、1スイス・フラン＝178.88円、1デンマーク・クローネ＝22.55円、1ユーロ＝168.20円です。

(注3) グローバル・ライフ株式マザーファンドにおいて、第8期末における外貨建純資産（7,579,290千円）の投資信託財産総額（7,628,534千円）に対する比率は、99.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年3月21日)、(2025年6月23日)現在

項 目	第 7 期 末	第 8 期 末
(A) 資産	1,993,376,722円	1,996,083,797円
コール・ローン等	7,694,005	46,598,866
グローバル・ライフ株式マザーファンド(評価額)	1,945,682,717	1,945,184,931
未収入金	40,000,000	4,300,000
(B) 負債	28,556,186	30,283,281
未払収益分配金	18,546,082	18,450,211
未払解約金	999,999	2,936,591
未払信託報酬	8,982,670	8,842,050
その他未払費用	27,435	54,429
(C) 純資産総額(A－B)	1,964,820,536	1,965,800,516
元本	1,854,608,206	1,845,021,179
次期繰越損益金	110,212,330	120,779,337
(D) 受益権総口数	1,854,608,206口	1,845,021,179口
1万口当り基準価額(C/D)	10,594円	10,655円

* 当作成期首における元本額は1,759,307,158円、当作成期間（第7期～第8期）中における追加設定元本額は207,541,427円、同解約元本額は121,827,406円です。

* 第8期末の計算口数当りの純資産額は10,655円です。

■損益の状況

第7期 自2024年12月24日 至2025年3月21日
第8期 自2025年3月22日 至2025年6月23日

項 目	第 7 期	第 8 期
(A) 配当等収益	7,235円	6,676円
受取利息	7,235	6,676
(B) 有価証券売買損益	△157,445,364	39,661,533
売買益	535,590	47,255,125
売買損	△157,980,954	△ 7,593,592
(C) 信託報酬等	△ 9,010,105	△ 8,869,044
(D) 当期損益金(A + B + C)	△166,448,234	30,799,165
(E) 前期繰越損益金	198,809,634	13,185,148
(F) 追加信託差損益金	96,397,012	95,245,235
(配当等相当額)	(81,543,775)	(89,560,223)
(売買損益相当額)	(14,853,237)	(5,685,012)
(G) 合計(D + E + F)	128,758,412	139,229,548
(H) 収益分配金	△ 18,546,082	△ 18,450,211
次期繰越損益金(G + H)	110,212,330	120,779,337
追加信託差損益金	96,397,012	95,245,235
(配当等相当額)	(81,543,775)	(89,560,223)
(売買損益相当額)	(14,853,237)	(5,685,012)
分配準備積立金	206,718,960	185,047,940
繰越損益金	△192,903,642	△159,513,838

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：4,945,722円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 7 期	第 8 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	6,208,450円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	81,543,775	95,245,235
(d) 分配準備積立金	225,265,042	197,289,701
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	306,808,817	298,743,386
(f) 分配金	18,546,082	18,450,211
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	288,262,735	280,293,175
(h) 受益権総口数	1,854,608,206口	1,845,021,179口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 7 期	第 8 期
1 万口当り分配金（税込み）	100円	100円

- ＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。
- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
 - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。

②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報の提供）

①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。

②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

グローバル・ライフ株式マザーファンド

運用報告書 第2期（決算日 2025年6月23日）

（作成対象期間 2024年6月22日～2025年6月23日）

グローバル・ライフ株式マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

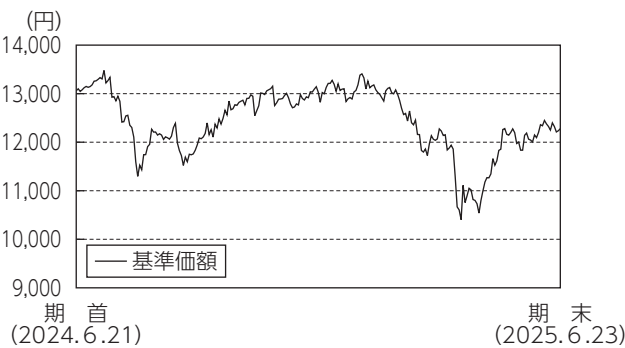
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	イ．日本を含む世界の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。またDR（預託証券）を含みます。） ロ．日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
株 式 組 入 制 限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算)		株 組 比	式 入 率	株 先 比	式 物 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		%	%	%
(期首)2024年 6月21日	13,060	—	13,523	—	—	97.8	—	—
6月末	13,149	0.7	13,685	1.2	96.7	—	—	—
7月末	12,350	△ 5.4	12,927	△4.4	97.2	—	—	—
8月末	12,124	△ 7.2	12,694	△6.1	96.9	—	—	—
9月末	12,157	△ 6.9	12,917	△4.5	95.9	—	—	—
10月末	12,947	△ 0.9	13,782	1.9	96.6	—	—	—
11月末	12,710	△ 2.7	13,750	1.7	96.7	—	—	—
12月末	13,193	1.0	14,329	6.0	97.4	—	—	—
2025年 1月末	13,159	0.8	14,345	6.1	97.8	—	—	—
2月末	12,436	△ 4.8	13,670	1.1	98.2	—	—	—
3月末	11,840	△ 9.3	13,247	△2.0	98.5	—	—	—
4月末	11,266	△13.7	12,673	△6.3	98.5	—	—	—
5月末	12,063	△ 7.6	13,572	0.4	98.5	—	—	—
(期末)2025年 6月23日	12,279	△ 6.0	13,919	2.9	98.4	—	—	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI AC World Index (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI ACWorld Index (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI に帰属します。またMSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCI によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCI は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。 (<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>)
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,060円 期末：12,279円 騰落率：△6.0%

【基準価額の主な変動要因】

当作成期の基準価額は、主に金融セクターの上昇はプラス要因となりましたが、トランプ新政権下において業界への不透明感の高まったヘルスケアセクターの下落や、米ドルに対する円高の進行がマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より2024年7月半ばにかけて、高成長が期待されるAI (人工知能) 関連銘柄が相場をけん引し、上昇しました。しかし7月後半に入ると、米国の対中輸出規制強化への懸念などから半導体関連株主導で下落し、8月初旬には米国雇用統計を受けた景気に対する不透明感から、急落しました。8月中旬以降は、米国の経済指標の改善や利下げ期待を背景に反発し、米国大統領選挙の結果を受けて米国景気の先行きに対する期待が高まったことを受けて上昇しましたが、12月のFOMC (米国連邦公開市場委員会) での2025年利下げ見通しの後退を嫌気し、反落しました。2025年に入ると、インフレ鈍化を示す米国のCPI (消費者物価指数) を受けた金利低下などを背景に上昇する局面もありましたが、コストが安いとされる中国製AIの報道や、個人消費の減速を示唆する経済データが散見されたことによる景気の先行き懸念などから、軟調な推移となりました。4月上旬には、米国政府による世界各国への関税強化方針が示されたことで急落したものの、その後は、相互関税の一時停止や対中強硬姿勢の緩和などが好感されたことから、急反発しました。5月以降は、関税交渉の進展や米国半導体大手エヌビディアの決算が好感されたことにより、上昇基調で推移しました。

○ 為替相場

対円為替相場は、米ドル、ユーロともに下落 (円高) しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より2024年9月にかけて、日銀が緩的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから、大幅な円高米ドル安が進行しました。しかし10月に入ると、米国金利が大きく上昇したことで日米金利差の拡大が意識され、円安米ドル高が大きく進行しました。11月以降は、日銀総裁による利上げ継続方針を受けて一時円高になる局面もありましたが、米国金利の上昇や12月の日銀の政策金利据え置きなどを背景に、円安基調が継続しました。2025年に入ると、日銀の利上げ見通しが高まったことや、米国の関税政策を発端として市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことなどから、4月にかけて円高基調となりました。5月前半には、貿易交渉の進展を背景にリスク選好が強まったことなどから円安が進行しましたが、その後は、国内金利の上昇を受けた金利差縮小の思惑などから、円高圧力が強まる展開となりました。

ユーロ対円為替相場は、当作成期首より、おおむね米ドル対円為替相場と同様の動きとなりましたが、軟調な欧州経済やECB (欧州中央銀行) の根強い利下げ観測を受けて、下落幅は相対的に大きくなりました。2025年3月以降は、ドイツ政府による大規模な財政拡大策を受けてユーロに上昇圧力がかかり、ユーロ圏金利の上昇や財政拡張への期待を背景に、当作成期末にかけてユーロは対円で下落幅を縮小しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の2つのテーマに関連する企業の株式等に投資を行います。「いのちを守る」というテーマにおいては、医療、食料、環境など、生きていくうえで必要不可欠な分野におけるさまざまな課題を解決する企業に着

目します。「いのちを輝かせる」というテーマにおいては、技術革新を通じて、より便利で豊かな生活を実現させる企業に着目します。

運用にあたっては、「いのち」にまつわる2つのテーマに関連する企業の中から、ESGスクリーニングやファンダメンタルズ分析等を実施することにより銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。幅広い視点から投資を行うことで、さまざまな企業の成長機会を捉え、長期的に良好なパフォーマンスを生み出すことをめざします。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、運用にあたって、カンドリアム・エス・シー・エーから助言を受けています。

運用につきましては、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」という2つのテーマに着目し、それぞれのテーマに関連した優れた成長機会を有する企業に投資を行うことで、信託財産の成長をめざしました。当作成期においては、特に「いのちを守る」に関連するサブテーマ「医療」や、「いのちを輝かせる」に関連するサブテーマ「利便性の向上」を中心に投資を行いました。セクター別では、情報技術セクター、資本財・サービスセクター、ヘルスケアセクター、地域別では、米国や欧州を中心に投資しました。個別銘柄では、MICROSOFT CORP（米国）、NVIDIA CORP（米国）、APPLE INC（米国）など、AI（人工知能）普及の恩恵を受ける企業を中心に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドでは、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の2つのテーマに関連する企業の株式等に投資を行います。「いのちを守る」というテーマにおいては、医療、食料、環境など、生きていくうえで必要不可欠な分野におけるさまざまな課題を解決する企業に着目します。「いのちを輝かせる」というテーマにおいては、技術革新を通じて、より便利で豊かな生活を実現させる企業に着目します。

運用にあたっては、「いのち」にまつわる2つのテーマに関連する企業の中から、ESGスクリーニングやファンダメンタルズ分析等を実施することにより銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。幅広い視点から投資を行うことで、さまざまな企業の成長機会を捉え、長期的に良好なパフォーマンスを生み出すことをめざします。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	10円 (10)
有価証券取引税 (株式)	3 (3)
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)
合 計	14

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
株 式

(2024年6月22日から2025年6月23日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内		千株 — (—)	千円 — (—)	千株 30.5	千円 77,512
外 国	アメリカ	百株 1,084.2 (234.4)	千アメリカ・ドル 19,222 (△ 2)	百株 1,366.2	千アメリカ・ドル 17,375
	イギリス	百株 1,547 (—)	千イギリス・ポンド 742 (—)	百株 4,141	千イギリス・ポンド 1,176
	スイス	百株 86 (—)	千スイス・フラン 912 (△ 1)	百株 152.5	千スイス・フラン 1,965
	デンマーク	百株 31 (—)	千デンマーク・クローネ 2,308 (—)	百株 30	千デンマーク・クローネ 2,639
	ノルウェー	百株 — (—)	千ノルウェー・クローネ — (—)	百株 96	千ノルウェー・クローネ 5,179
	ユーロ (アイルランド)	百株 14 (—)	千ユーロ 137 (—)	百株 27	千ユーロ 230
	ユーロ (オランダ)	百株 8.2 (—)	千ユーロ 690 (—)	百株 115.8	千ユーロ 757
	ユーロ (ベルギー)	百株 — (—)	千ユーロ — (—)	百株 136	千ユーロ 946
	ユーロ (フランス)	百株 21.3 (—)	千ユーロ 960 (△ 3)	百株 413	千ユーロ 2,672
	ユーロ (ドイツ)	百株 16 (—)	千ユーロ 316 (—)	百株 91	千ユーロ 491
国	ユーロ (スペイン)	百株 577 (—)	千ユーロ 739 (—)	百株 —	千ユーロ —
	ユーロ (その他)	百株 — (—)	千ユーロ — (△ 6)	百株 174	千ユーロ 1,050
	ユーロ (ユーロ 通貨計)	百株 636.5 (—)	千ユーロ 2,844 (△ 10)	百株 956.8	千ユーロ 6,147

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
株 式

(2024年6月22日から2025年6月23日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘	柄	株 数	金 額 平均単価	銘	柄	株 数	金 額 平均単価
		千株	千円 円			千株	千円 円
S&P GLOBAL INC (アメリカ)		2	150,928 75,464	ALPHABET INC-CL A (アメリカ)		7.7	205,547 26,694
HOME DEPOT INC (アメリカ)		2.3	145,996 63,476	NVIDIA CORP (アメリカ)		8.4	171,643 20,433
WASTE MANAGEMENT INC (アメリカ)		4.3	143,151 33,291	MARVELL TECHNOLOGY INC (アメリカ)		12.15	158,128 13,014
XYLEM INC (アメリカ)		7.6	141,218 18,581	KBC GROUP NV (ベルギー)		13.6	153,741 11,304
ELI LILLY & CO (アメリカ)		1.07	127,959 119,588	PROCTER & GAMBLE CO/THE (アメリカ)		5.9	142,660 24,179
ON SEMICONDUCTOR CORP (アメリカ)		11.6	122,242 10,538	SANOFI (フランス)		9.3	140,317 15,087
ACCENTURE PLC-CL A (アイルランド)		2.2	118,273 53,760	BUREAU VERITAS SA (フランス)		28	132,407 4,728
IBERDROLA SA (スペイン)		57.7	116,879 2,025	OWENS CORNING (アメリカ)		4.96	129,239 26,056
ICON PLC (アイルランド)		2.33	115,705 49,659	ESSILORLUXOTTICA (フランス)		3	126,393 42,131
ASML HOLDING NV (オランダ)		0.82	114,387 139,497	UNILEVER PLC (イギリス)		13.3	117,966 8,869

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内株式

銘		期 首	当 期	期 末
		株 数	株 数	評 価 額
精密機器 (－)		千株	千株	千円
オリンパス		30.5	－	－
合 計	株 数、金 額	千株	千株	千円
	銘柄数<比率>	30.5	－	－
		1銘柄	－	<－>

(注1) 銘柄欄の()内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄	期首 株数	当 株数	期末 評価額		業種等
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
PALO ALTO NETWORKS INC	22.3	55.9	1,113	163,164	情報技術
ABBOTT LABORATORIES	—	56	744	109,104	ヘルスケア
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	—	45	802	117,629	金融
TE CONNECTIVITY LTD	36	—	—	—	情報技術
APPLE INC	111	87	1,748	256,184	情報技術
BECTON DICKINSON AND CO	18	—	—	—	ヘルスケア
CADENCE DESIGN SYS INC	30	22.5	664	97,371	情報技術
SERVICENOW INC	12.3	5.4	524	76,848	情報技術
CISCO SYSTEMS INC	151	—	—	—	情報技術
BROADCOM INC	—	25	624	91,558	情報技術
CBOE GLOBAL MARKETS INC	—	17.5	395	57,902	金融
AGCO CORP	105.5	54.5	557	81,622	資材・サービス
IDEX CORP	21.8	21.8	377	55,298	資材・サービス
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS INC	—	21	522	76,561	一般消費・サービス
MARKETAXESS HOLDINGS INC	—	11	241	35,417	金融
AUTOLIV INC	53	—	—	—	一般消費・サービス
AGILENT TECHNOLOGIES INC	—	40	462	67,718	ヘルスケア
FISERV INC	—	30.5	498	73,002	金融
ALPHABET INC-CL A	135.5	72.5	1,208	176,992	コミュニケーション・サービス
OWENS CORNING	49.6	—	—	—	資材・サービス
HOME DEPOT INC	—	16	559	81,950	一般消費・サービス
ZOETIS INC	32	70.5	1,108	162,329	ヘルスケア
HOLOGIC INC	66.9	—	—	—	ヘルスケア
ELI LILLY & CO	—	8.7	663	97,213	ヘルスケア
LAM RESEARCH CORP	—	30	271	39,770	情報技術
S&P GLOBAL INC	—	18.4	927	135,912	金融
METLIFE INC	185	164	1,299	190,309	金融
MARVELL TECHNOLOGY INC	70.5	—	—	—	情報技術
XYLEM INC	—	76	945	138,573	資材・サービス
STRYKER CORP	16	13.8	518	75,926	ヘルスケア
PROCTER & GAMBLE CO/THE	105.8	46.8	744	109,068	生活必需品
AMERICAN WATER WORKS CO INC	38.5	48.5	685	100,361	公益事業
ACCENTURE PLC-CL A	—	22	627	91,974	情報技術
QUALCOMM INC	41	—	—	—	情報技術
SYSCO CORP	—	69	515	75,490	生活必需品
ON SEMICONDUCTOR CORP	—	67	353	51,845	情報技術
BENTLEY SYSTEMS INC-CLASS B	92.5	—	—	—	情報技術
SALESFORCE.COM INC	27	31	807	118,365	情報技術
UNITEDHEALTH GROUP INC	16.5	11.5	347	50,881	ヘルスケア
WASTE MANAGEMENT INC	18	37	858	125,723	資材・サービス
TRACTOR SUPPLY COMPANY	22.3	97.5	512	75,018	一般消費・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	20.7	36.7	1,242	182,033	金融
NVIDIA CORP	226	188	2,704	396,191	情報技術
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	15.4	14.9	592	86,851	ヘルスケア
MASTERCARD INC - A	24.1	29.8	1,588	232,678	金融
TETRA TECH INC	28.8	128	450	65,988	資材・サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	71.1	83.1	1,741	255,060	情報技術
LINDE PLC	13.2	11.2	510	74,797	素材
ADVANCED MICRO DEVICES	60.1	—	—	—	情報技術
EMERSON ELECTRIC CO	53.9	79.9	1,025	150,214	資材・サービス
AMGEN INC	19.5	—	—	—	ヘルスケア

銘柄	期首 株数	当 株数	期末 評価額		業種等
			外貨建金額	邦貨換算金額	
TE CONNECTIVITY LTD	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	情報技術
DOVER CORP	—	30	489	71,726	情報技術
MICROSOFT CORP	35.7	14.7	257	37,661	資材・サービス
MICRON TECHNOLOGY INC	75.1	83.2	3,971	581,893	情報技術
IDEX LABORATORIES INC	59	26	321	47,079	情報技術
アメリカ・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	2,180.6 38銘柄	2,133 45銘柄	37,872 <72.9%>	
(イギリス)	百株	百株	千イギリス・ポンド	千円	
AIRTEL AFRICA PLC	3,497	—	—	—	コミュニケーション・サービス
HALEON PLC	—	1,470	565	111,076	ヘルスケア
SMURFIT KAPPA GROUP PLC	122	—	—	—	素材
SMURFIT WESTROCK PLC	—	56	179	35,271	素材
INFORMA PLC	1,071	499	392	77,136	コミュニケーション・サービス
ASTRAZENECA PLC	36	30	311	61,267	ヘルスケア
COMPASS GROUP PLC	176	253	628	123,553	一般消費・サービス
イギリス・ポンド 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	4,902 5銘柄	2,308 5銘柄	2,077 < 5.4%>	
(スイス)	百株	百株	千スイス・フラン	千円	
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	15.5	—	—	—	ヘルスケア
NESTLE SA-REG	70.97	50.97	415	74,344	生活必需品
TECAN GROUP AG-REG	12	—	—	—	ヘルスケア
NOVARTIS AG-REG	57	—	—	—	ヘルスケア
STRAUMANN HOLDING AG-REG	—	38	390	69,911	ヘルスケア
スイス・フラン 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	155.47 4銘柄	88.97 2銘柄	806 < 1.9%>	
(デンマーク)	百株	百株	千デンマーク・クローネ	千円	
NOVO NORDISK A/S-B	72	73	3,473	78,323	ヘルスケア
デンマーク・クローネ 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	72 1銘柄	73 1銘柄	3,473 < 1.0%>	
(ノルウェー)	百株	百株	千ノルウェー・クローネ	千円	
BAKKAFROST P/F	96	—	—	—	生活必需品
ノルウェー・クローネ 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	96 1銘柄	—	— < —>	
ユーロ(アイルランド)	百株	百株	千ユーロ	千円	
KERRY GROUP PLC-A	110.5	97.5	910	153,171	生活必需品
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	110.5 1銘柄	97.5 1銘柄	910 < 2.0%>	
ユーロ(オランダ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
ASML HOLDING NV	6.8	10.2	663	111,585	情報技術
STMICROELECTRONICS NV	111	—	—	—	情報技術
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	117.8 2銘柄	10.2 1銘柄	663 < 1.5%>	
ユーロ(ベルギー)	百株	百株	千ユーロ	千円	
KBC GROUP NV	180	44	374	63,069	金融
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	180 1銘柄	44 1銘柄	374 < 0.8%>	
ユーロ(フランス)	百株	百株	千ユーロ	千円	
AIR LIQUIDE SA	49.17	39.17	700	117,774	素材
SCHNEIDER ELECTRIC SE	21.3	25.3	541	91,088	資材・サービス

銘柄		期 首		期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千ユーロ	千円	
L'OREAL		12	12	437	73,661	生活必需品
BUREAU VERITAS SA		280	—	—	—	資本財・サービス
ESSILORLUXOTTICA		23.4	8.4	202	34,022	ヘルスケア
HERMES INTERNATIONAL		—	2.3	519	87,314	一般消費財・サービス
SANOFI		93	—	—	—	ヘルスケア
国 小 計	株数、金額 銘柄数<比率>	478.87 6銘柄	87.17 5銘柄	2,401	403,860 < 5.3%>	
ユーロ(ドイツ)		百株	百株	千ユーロ	千円	
SIEMENS AG-REG		35.7	47.7	998	167,924	資本財・サービス
SIEMENS HEALTHINEERS AG		87	—	—	—	ヘルスケア
国 小 計	株数、金額 銘柄数<比率>	122.7 2銘柄	47.7 1銘柄	998	167,924 < 2.2%>	
ユーロ(スペイン)		百株	百株	千ユーロ	千円	
IBERDROLA SA		—	577	948	159,552	公益事業
国 小 計	株数、金額 銘柄数<比率>	— 1銘柄	577 1銘柄	948	159,552 < 2.1%>	
ユーロ(その他)		百株	百株	千ユーロ	千円	
DSM FIRMENICH AG		75.1	48.1	450	75,855	素材
RELX PLC		137	123	561	94,381	資本財・サービス
UNILEVER PLC		227	94	502	84,524	生活必需品
国 小 計	株数、金額 銘柄数<比率>	439.1 3銘柄	265.1 3銘柄	1,514	254,761 < 3.3%>	
ユーロ通貨計		株数、金額 銘柄数<比率>	1,448.97 15銘柄	1,128.67 13銘柄	7,811 < 17.3%>	
ファンド合計		株数、金額 銘柄数<比率>	8,855.04 64銘柄	5,731.64 66銘柄	— < 98.4%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年6月23日現在

項目	期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	7,493,070	98.2
コール・ローン等、その他	135,463	1.8
投資信託財産総額	7,628,534	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月23日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝146.50円、1イギリス・ポンド＝196.52円、1スイス・フラン＝178.88円、1デンマーク・クローネ＝22.55円、1ユーロ＝168.20円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（7,579,290千円）の投資信託財産総額（7,628,534千円）に対する比率は、99.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年6月23日現在

項目	当期末
(A) 資産	7,628,534,887円
コール・ローン等	93,244,010
株式(評価額)	7,493,070,977
未収入金	37,295,885
未収配当金	4,924,015
(B) 負債	16,100,000
未払解約金	16,100,000
(C) 純資産総額(A－B)	7,612,434,887
元本	6,199,345,729
次期繰越損益金	1,413,089,158
(D) 受益権総口数	6,199,345,729口
1万口当り基準価額(C／D)	12,279円

* 期首における元本額は6,884,830,802円、当作成期間中における追加設定元本額は495,414,537円、同解約元本額は1,180,899,610円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 グローバル・ライフ株式ファンド（資産成長型） 4,615,189,909円
 グローバル・ライフ株式ファンド（予想分配金提示型） 1,584,155,820円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,279円です。

■損益の状況

当期 自2024年6月22日 至2025年6月23日

項目	当期
(A) 配当等収益	86,355,197円
受取配当金	85,010,126
受取利息	1,345,071
(B) 有価証券売買損益	△ 628,116,771
売買益	693,790,200
売買損	△1,321,906,971
(C) その他費用	△ 764,137
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 542,525,711
(E) 前期繰越損益金	2,106,829,796
(F) 解約差損益金	△ 282,150,390
(G) 追加信託差損益金	130,935,463
(H) 合計(D + E + F + G)	1,413,089,158
次期繰越損益金(H)	1,413,089,158

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

（運用報告書）

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

<変更後>

（運用状況にかかる情報）

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。